

## 令和5年度第1回中野市学校給食センター運営委員会会議録 要旨

開催日時 令和5年10月5日(木) 午後3時30分  
開催場所 中野市北部学校給食センター 2階会議室

### 出席者

(委員)

工藤優子委員、村島康秋委員、小林みどり委員、佐藤智恵子委員、塩川麻央委員、  
小山健史委員、徳竹真弓委員、嶋田茜委員、田中五月委員、古田忍委員

(事務局 市教育委員会)

柴本豊教育長、柴本清天教育次長、竹内和彦所長、田中幸子副主幹、望月智栄養士、  
田澤悦子栄養教諭、宮澤比呂子栄養教諭、平沢由美栄養職員

### 欠席者

(委員)

神田久仁玲委員、山口ゆかり委員

### 会議内容

- 1 開 会 柴本教育次長  
資格審査報告 委員12名中、出席者10名  
(運営委員会条例第5条第2項の規定により、出席委員が過半数を上回っているため、運営委員会が成立)
- 2 あいさつ 柴本教育長
- 3 自己紹介 (委員、事務局)
- 4 会長の互選、職務代理者の指名について  
会 長：高社中学校長の小山委員を選出  
職務代理者：日野小学校長の徳武委員を会長が指名
- 5 諮 問 柴本教育長から小山会長へ諮問書を手交

## 6 報告事項

学校給食センターの概要と令和4年度の運営状況及び食育について、所長及び栄養教諭が資料に基づいて説明を行った。

「6 報告事項」における質疑・ご意見

会 長：食物アレルギー対応をしていただいて、ありがたいと感じている。中にはエピペンを持参し、学校にも持ってきている生徒もいる中での対応は、ありがたい。

食育関係で何かありますでしょうか。

委 員：今までも工夫してやっていたということが分かり、ありがとうございます。

## 7 会議事項

令和5年度の給食運営について及び食育について、所長及び栄養教諭が資料に基づいて説明を行った。

「7 会議事項」における質疑・ご意見

会 長：令和5年度の給食運営について、何かございますか。

委 員：給食費が3割軽減から5割軽減になった経緯を説明していただきたい。

また今後、給食費の無償化について進んでいくのか聞きたい。

事務局：給食費は、現市長になって令和2年度から3割軽減を実施している。5割軽減は、市長の施策の1つとして実施している。給食費の無料化については、国の動向を見ながら、今のところまだ進んでいないことから、現時点では考えていない。

会 長：令和5年度食育について、何かございますでしょうか。

委 員：献立と立てるタイミング、だいたい、いつごろ立てているのか。

11月の献立を立てるとしたら、いつごろ作っているのでしょうか。

事務局：10・11月の献立を7月中に立てている。3月前くらいに立てているので、なかなか、その年の気候も分からない状態で献立を立てることになり、農産物の出来とかによって、給食費に影響したり、使える果物が変わってしまったりで、大きな変更が時々あつたりします。

委 員：主婦なので、いつもその季節の旬のものをチラシで見ているが、早い段階で献立を立てるのは、なかなか大変なんだろうなと思いながら献立表を冷蔵庫に貼っています。これだけ、地球の環境が変わってしまっているから、大変だと思っています。

※ 会議事項は、運営委員会において了承された。

## 8 審議事項

諮問書の内容を審議いただくため、令和6年度の学校給食費（案）について、所長が資料に基づき説明を行った。

### 「8 審議事項」における質疑・ご意見

委員：給食費の改定額（案）が小学校低学年の増額幅が一番大きく、中学生の増額幅が一番少ないのはなぜか。当然、食べる量は中学生のほう多いので、給食の量も多いと思うが、増額幅がなぜ少ないのか。小学校低学年の保護者から「食べる量が少ないのに、値上げの幅が一番大きい」と、苦情が出たりするのではないかと思うが、この金額を設定した経緯を教えてください。

事務局：（資料の中の「主食・牛乳単価表」を見ながら説明）

米飯・パンについては、学年によって提供する量が変わっているが、牛乳に関しては、小学校低学年でも高学年でも中学生でも、同じ量で同じ価格となっており、給食費の中で牛乳が占める割合が非常に大きい。給食費の中から牛乳代を抜いて、主食と副食費の金額を考えるとどうしても、小学校低学年のほうが使えらる金額が少なくなってしまうことから、値上げの幅が一番大きくなってしまふ。

委員：給食費を保護者にお知らせする際、その説明も併せて周知していただけるか。

事務局：はい。

会長：確認ですが、先ほども質問があつた給食費の軽減ですが、3割軽減から5割軽減になったが、来年度は未定である中で、できる限り保護者の皆様の負担を減らしたいと考えてよいか。

事務局：さきほど委員から話があつたように、全国的に無償化に取り組まれる市町村が出てきている状況であるが、恒久的に無償化というところは少ないと認識している。そんな中で中野市の場合は、19市の中で3割軽減・5割軽減に早くから取り組んできている。国の動向も踏まえながら検討してきている。今年度は市長の強い意向もあつて5割軽減ということで大きく軽減額が上がっている。さらにここで今回、単価を上げさせていただくということの中で、単価が引きあがれば軽減割合が同じですと（保護者の）負担額が増えるということもあるので、その辺は予算の話になりますので、現時点ではお示しすることはできませんが、事務局としては要望を財政へ伝え、最終的には議会の議決をいただいて決定するという形になる。できるだけ、保護者の負担が増えないようにと事務局としては考えている。

会 長：ほかになければ、給食費1食あたりの単価について、事務局が示した案が  
適当であると答申してもよろしいでしょうか。

委 員：異議なし

※ 答申書の内容については、会長一任

会 長：最後に一言ずつ、給食に対する思いなど、ご意見をいただきたい

委 員：給食にかかわる皆さんには、衛生的にも一生懸命やっただいていてと思う。今後も引き続きお願いしたい。

委 員：委員になって4年目になるが、本当によくやっただいていて思っている。今回の値上げについても「仕方がないのかな」と思っているが、市長の給食費の軽減は、思いやりのある政策をしていただいていると思っている。今後も保護者負担があまり大きく増えないように頑張っただきご尽力いただきたい。

委 員：食育に対して細かい気づかいをしていただいていることに感謝しています。今日、たまたま飯山市の栄養士の話聞いてきたが、学校給食をやっているから、子どもの反応を直に聞いているとお聞きして、子どもたちと一緒に食べて声を聴くことも大切かなと思った。

委 員：いつもありがとうございます。小学校の頃から、子どもたちは本当に給食を楽しみに学校へ行っているので、子供の成長を本当に支えていただいていると感じている。中野市は、地元のお米や野菜を本当に沢山使っただいているので、ありがたいと思っている。

委 員：自分がいる学校の様子になるが、給食の時間に前の方で給食当番が配膳しているが、給食センターで気を使っただいた給食を、安全に生徒の口に入るように気を付けて配っている。食べている様子も個人差があるが、食育を兼ねて一緒に成長にかかわれるように食べる指導を続けていきたい。

委 員：子どもは、食育も給食も毎日本当に楽しみにしている。中野市の給食は、地元の食材も多くおいしいと思っている。(給食センターからの毎日のおたよりで) クイズを出していただいているのも盛り上がっている。今週は給食週間で、昨日、栄養教諭にお越しいただいて「バランスよく食べよう」というプレゼンを全校の前でしていただきありがたい。授業でも来ていただけるとのことなので、学校で話をするよう、お願いした際はよろしくお願ひします。

委 員：子どももいつも給食を楽しみにしているようなので、家だとあまり野菜を食べないが、学校の給食だと美味しく野菜をいつも食べているようで、大変ありがたいと思っている。今後も、地元のお野菜を美味しく食べられるような工夫を、よろしくお願ひします。

委員：私の息子も中野小学校で毎日給食を食べているので、今日、こんなに沢山の人が給食に携わっていただいて、給食が成り立っているんだなど実感した。

委員：いろいろと、原材料の高騰など大変かと思いますが、引き続き対処していただくよう、お願いいたします。

会長：今年、高社中は1年生を中心に食育の授業をしていただいて、中学校1年生の段階で食育を学ぶというのは大事である。その前から（食育を）やっているが、中学校に入った段階で体も心も大きく成長していくこの時期にだからこそ、自分の栄養、健康管理を意識づける。「とても食育は大事なな」と感じている。

## 9 その他

次回の運営委員会は令和6年3月を予定している。

## 10 閉会 午後4時36分